新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的
☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます。
☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

今週の紙面

■2面　女性ニュース■3面　読者のページ／まんが／短歌
■4・5面　先生が足りない？／ジェンダーリレー講座／ホットライン　■6面　「切り絵」のすすめ／母の歴史　■7面　新婦人のページ／主張／校則

千葉・四街道市　相羽滋子

新日本婦人の会は国連に認証されたＮＧＯです

大軍拡ＮＯ！　暮らし・平和こそ

１月の日米首脳会談で、岸田首相とバイデン大統領は憲法違反の敵基地攻撃能力の保有など大軍拡を盛り込んだ「安保３文書」を合意しました。「戦後の安全保障政策の大転換」の大軍拡の中味は？　（１・８面イラスト、２面解説）

まんが・竹中らんこ

軍事費４３兆円あればこんなことができる

子ども・教育
- 学校給食無償化　4400億円
- 児童手当の高校までの延長と所得制限撤廃　1兆円
- 大学・大学院の学費半額　1兆6500億円

医療・福祉
- 高齢者医療費窓口負担を１割に戻す　300億円
- 公的保険医療の自己負担をゼロに　5兆1837億円
- 介護保険利用料無料に　1兆円
- ケア労働者200万人の処遇改善（全産業平均並みに月８万円の賃上げ）　2兆円
- 消費税税率の２％引き下げ　4兆3146億円

平和外交こそ希望

対話と信頼をつくる努力を

国連事務次長、軍縮問題担当上級代表
中満　泉

安全保障は、軍事力によってのみ保たれるのではまったくなく、もっと包括的な概念であるべきだと思います。さまざまな外交努力があり、国際的な対話があり、信頼醸成のためのさまざまな努力があってつくられていくものです。（ＮＨＫのインタビュー2022年12月18日放映）

軍縮こそ未来の保証

国連事務総長
アントニオ・グテレス

分断と紛争が増大している今、私たちは外交と対話、交渉を通じて核の脅威を永久に終わらせなければなりません。軍縮こそ、人類を救い私たちみんなの未来を確かなものにする唯一の道です。（2022年10月28日、国連軍縮週間に）

核兵器禁止条約は希望

オーストリア外務省軍縮局長、核兵器禁止条約第１回締約国会議議長
アレクサンダー・クメント

核兵器禁止条約は核抑止という考え方から脱却する道を示しています。核をめぐる動きが核軍縮とは逆の方向に進み、この問題で核保有国のリーダーシップが失われている今、禁止条約はなくてはならない、大切な希望の光です。（2023年１月23日、核兵器禁止条約発効２周年にあたって）

核兵器禁止条約とは
核兵器を持つことや使うことはもちろん、使うと脅かすことも違法とした核兵器禁止条約（ＴＰＮＷ）。ロシアのプーチン大統領が核脅迫を続けるもとでも、条約に加盟する国は68カ国に増え国連加盟国の３分の１となっている。

発行所　新日本婦人の会　New Japan Women's Association　〒112―0002 東京都文京区小石川5-10-20　電話03(3814)9141(代)
編集部 03(5805)2370／Fax 03(5805)2372　振替00150-7-74582　1部105円　月410円（いずれも税込み、送料別）、会員は会費に含む
http://www.shinfujin.gr.jp ©新日本婦人の会2023年